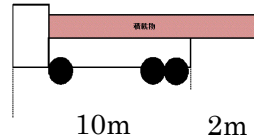


本免学科試験対策問題③

- 1 後輪が右に横すべりをしたら、ブレーキペダルは踏まずにハンドルを右に回して車の向きを立て直すとよい。
- 2 夕暮れ時は前照灯をつけると対向車の迷惑になるので、暗くなってからつけるようにする。
- 3 アンチロックブレーキシステム（ABS）で急ブレーキをかける場合は、ブレーキを一気に強く踏み続けなければならない。
- 4 夜間、対向車のライトを直接見ると、げん感されて目が見えなくなってしまうので、視線をやや右前方に移した。
- 5 災害時に、親戚の家に物資を届けるためなら警察の許可がなくても通行禁止区域内等を一般車両が通行することができる。
- 6 対向車と正面衝突しそうになった時、たとえ道路外に危険がなくても道路外へ出てはいけぬ。
- 7 路側帯のあるところでは駐停車するときは、どのような場合でも車の左側に 0.75m の余地を空けなければならない。
- 8 駐車した場合、車の右側の道路上に 2.5m 以上の余地をあげなければならない。
- 9 消防用防火水そうや消火栓から 5メートル以内の場所では、駐車することができない。
- 10 普通車の積載物の制限は、自動車の幅×1.1 以下であれば積載することができる。
- 11 全ての自動車は、6 か月ごとに定期点検を行わなければならない。
- 12 道路の曲がり角から 5m 以内の場所で 5 分をこえる荷物の積み下ろしのために車を停めていたが、運転手がいてすぐに発進できる状況だったので駐車違反にはならない。

- 13 このような積載の方法は違反にならない。



- 14 オートマチック車で、坂道で駐車するときは、上りでも下りでも「P」に入れて駐車しなければならない。
- 15 駐車禁止の場所でも、警察官から指示があった場合は、移動しなければならない。
- 16 放置車両確認標章は、その車の運転者やその車の管理について責任がある人は取り除くことができるので、運転する際には危険防止のため、その標章を取り除いてもよい。
- 17 二輪車のチェーンは張りすぎているくらいがよい。
- 18 災害時に車を置いて避難するときは、車を道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを切り、盗難防止のためエンジンキーを抜き、ドアロックをして避難する。
- 19 自動車の積載物は、自動車の前後から少しでもはみ出してはいけぬ。
- 20 自動車の保管場所は、自動車の使用の本拠地から 4km 以内の道路以外の場所に確保しなければならない。
- 21 運転中、故障している車を見つけて手助けしようとしたが、助けると時間がかかり他の交通の迷惑となるのでそのまま通り過ぎた。
- 22 歩道や路側帯のない道路では、道路の左端に沿って駐車しなければならない。
- 23 駐車禁止場所でないところで、同じ場所に引き続き 12 時間（夜間は 8 時間）以上駐車してはならない。
- 24 故障車をロープでけん引する場合は、故障車との間に 10m 以上の安全な間隔を保ち、ロープに 30cm 平方以上の黄色の布をつけなければならない。
- 25 駐車禁止場所であっても、警察署長の許可を受ければ駐車することができる。
- 26 大型二輪車や普通自動二輪車は、後部に運転者以外の座席がなければ二人乗りをすることができない。
- 27 路側帯の中を通行している歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な間隔をあけたり、徐行したりする必要はない。
- 28 検査標章の数字は、次の検査の時期が記載されています。
- 29 バスの停留所から 10m 以内では、バスの運行時間中でなければ駐停車することができる。
- 30 駐車場・車庫などの自動車専用の出入り口から 5m 以内の場所は、駐車してはならない。
- 31 自転車横断帯の前後 5m 以内は、駐車してはいいが停車はしてもよい。
- 32 ナンバープレートの大きさ・色・文字・数字は規制されている。
- 33 全ての自動車は、1 日 1 回運行前に必ず日常点検を行わなければならない。
- 34 白の実線一本で区切られた路側帯に進入して駐停車する時は、車の左側に歩行者通行のため、0.75m 以上の余地をあける必要がある。
- 35 路側帯の幅が 0.75m 以下の場合は、車道の左側に沿って駐停車する。
- 36 駐車禁止でないところに午前 7 時 30 分から、午後 8 時まで駐車した。

- 37 交通事故を起こしたとき、自分に責任がなく相手に過失があれば、警察に届け出をしなくもよい。
- 38 軽自動車や原動機付自転車のナンバープレートに封印がついていないのは、ナンバープレートをどこの位置につけてもよいからである。
- 39 二輪車を運転するとき、方向指示器・ブレーキ灯が故障してしまうと周囲に意志が伝わりづらくなるので、交通事故の原因になる。
- 40 6人乗りの自動車に運転者と高校生3人、幼児3人乗車できる。

41 この標識がある場所では、駐車してはならないが、5分以内の荷物の積み下ろしのための停止はしてもよい。



42 普通乗用車で故障車をロープでけん引する時は、故障車との間隔を5m以内にして、一辺が30cm平方以上の白い布をロープに結びつけなければならない。

- 43 オーバーヒートが起きたら、直ちにエンジンを止めてラジエーターキャップをはずすとよい。
- 44 大型車の後ろを走行中、眠気を感じた場合、前の大型車のブレーキランプを見つけて走行するとよい。
- 45 5人乗りの自動車に、運転者以外に大人3人と5歳未満の子供3人を乗せて運転することができる。
- 46 バス停の標示板から10m以内の場所は、バスの運行時間中に限り駐停車禁止である。
- 47 荷物の積み下ろしをする際、「配達中」の文字を掲げていれば、時間に関係なく停車とみなされる。
- 48 子供が乗車する場合は12歳未満の子供、3人を大人2人分と数えることができる。
- 49 交通事故を起こした場合には、過失が大きい方が救急隊や警察に報告しなければならない。

50 この標識のある場所では、70歳以上の高齢運転者であれば誰でも駐車することができる。



- 51 路肩が広ければ、特定の村の区域内でなくても、夜間8時間以上駐車してもよい。
- 52 ウィンドウォッシャーの日常点検では、液量の確認だけでなく噴射の向きや高さが適当かどうか点検しなければならない。
- 53 故障車をけん引することができるのは、JAFだけである。
- 54 路側帯で駐停車するときは、どのような場合でも白線に沿って停める。
- 55 原動機付自転車では、地上から2m以下まで荷物を積むことができる。
- 56 タイヤやスタッドレスタイヤを使用していれば、積雪時でも路面が乾いている時と同じ停止距離になる。
- 57 各都道府県公安委員会が指定した区域や特定の村の区域以外の場所では、幅員が広い道路でも夜間8時間以上駐車することができない。
- 58 放置車両確認標章を2回つけられた場合は、免許停止処分になる場合がある。
- 59 自家用の車両総重量8トン未満の貨物自動車の定期点検の時期は、6ヶ月ごとに実施しなければならない。
- 60 長時間にわたって運転するときは、2時間に1回は休憩をとるようにしなければならない。
- 61 放置違反金を納付の期限まで納付せず、公安委員会から督促を受けた自動車の使用車は、その放置違反金及び手数料を納付したことなど証する書面を提示すれば、新たに自動車検査証を受けることができる。
- 62 荷物が分割できないため、積載物の重量や大きさ、積み方が規定の制限をこえる場合、出発地の警察署長の許可を受けて積載することができますが、その荷物の長さや幅が制限をこえるものであるときは、その荷物の見やすい箇所に昼間は0.3m平方以上の赤色の布をつけなければならない。
- 63 ブレーキペダルを踏み込んでふわふわした感じのするときは、ブレーキに空気が入っているか、ブレーキ液の液漏れのおそれがある。
- 64 昼間、50m先が見えないようなトンネルの中で車が故障し駐車する場合、わかりやすいように非常点滅表示灯とバックランプをつけるとよい。
- 65 積載物の重量は、自動車検査証に記載されている重量の1.1倍まで積載することができる。
- 66 幅が1m以上ある路側帯は、交通が混雑しているときに限り、自動二輪車と原動機付自転車は通行することができる。
- 67 高速道路での車間距離は、路面が乾燥していてタイヤが新しい場合には、走行している速度の数字をメートルに置き換えた距離(時速100kmでは100m、時速80kmでは80m)以上の車間距離が必要である。
- 68 普通二輪免許を取得して3年以上経過し、かつ20歳以上の者が、大型二輪免許を取得してすぐに高速道路で二人乗りすることができる。
- 69 大型自動二輪車の高速自動車国道における最高速度は時速100kmであるが、普通自動二輪車の最高速度は時速80kmである。
- 70 高速自動車国道において速度表示がない場合、大型自動二輪車は時速80km以上出すことはできない。
- 71 高速自動車国道における、大型貨物自動車、中型貨物自動車、普通貨物自動車の最高速度は時速80kmである。
- 72 高速道路で故障などのやむを得ない場合は、路肩や路側帯に駐停車することができる。
- 73 昼間、高速道路において故障などで路側帯に駐車した場合、後方の路上に停止表示器材を置き、さらに200m先が見えないような場合は、合わせて非常点滅表示灯、駐車灯または尾灯をつけなければならない。

- 7 4 高速道路の料金所付近は事故が多いので、速度を落として周りの状況をしっかり確認しながら進むようにする。
- 7 5 高速道路でスタンディングウェーブ現象を防ぐためにも、あらかじめタイヤの空気圧をやや低めにしておくといよい。
- 7 6 高速道路が渋滞していたので、止まってしまうと危険だと思い、路肩を走行して出口へ向かった。
- 7 7 高速道路を走行する前に、停止表示器材が備えつけられているか点検をしなければならないが、一般道路を走行する際は、停止表示器材を備え付ける必要はない。
- 7 8 高速道路を走行中、故障などのためやむを得ない場合は、登坂車線に駐停車することができる。
- 7 9 高速道路で本線車道へ合流のため加速したが、流れが切れないので路肩を走行し、しばらくしてから本線車道へ合流した。
- 8 0 けん引するための構造と装置のある車で、けん引されるための構造と装置のある車をけん引しているときは、高速自動車国道を走行することができる。
- 8 1 高速自動車国道において、故障車をロープでけん引している自動車は通行することができる。
- 8 2 高速道路の料金所の前にある交通情報案内や料金所の係員に聞いて、早めに渋滞や事故の情報をつかんでおいた方がよい。
- 8 3 高速道路で減速車線に入る時は、あらかじめ本線車道で十分速度を落としてから、減速車線に進入しなければならない。
- 8 4 大型自動二輪免許か普通自動二輪免許を受けていて、年齢が20歳以上で経験が3年以上の者であれば高速道路を二人乗りすることができる。
- 8 5 高速道路では、危険防止のため一時停止する時以外は、路肩や路側帯に駐停車してはならない。
- 8 6 高速道路で後退するときは、他の車がない場合に行く。
- 8 7 ミニカーは普通自動車になるので、当然、高速道路を通行することができる。
- 8 8 高速道路上は駐停車禁止なので、危険防止のためやむを得ない場合でも一時停止してはならない。
- 8 9 高速道路は、安全な設計になっているため、運転が未熟な者でも安全に走行することができる。
- 9 0 大型自動二輪車で高速道路を走行する時、大型二輪免許を1年を経過していれば2人乗りをすることができる。
- 9 1 高速道路を走行中に車が故障したため、路肩に車を停めて、救援の車がくるまで車内で待機した。
- 9 2 高速道路を走行中、前車が進路をゆずってくれなかったので、左の車線を走行して追い越した。
- 9 3 高速道路を走行中にやむを得ず急ブレーキをかける場合は、クラッチペダルを踏んだ状態でブレーキを数回に分けて踏むのがよい。
- 9 4 普通二輪免許を受けて1年以上経過した者が、新たに大型二輪免許を受けたとき、その後1年以内は大型二輪車で二人乗りができない。
- 9 5 故障した普通自動二輪車をけん引する大型自動二輪車は、高速自動車国道を通行することができる。
- 9 6 高速道路で合流するとき、気をつけなければならないのは前方の車より、むしろ本線車道を走っている後続車である。
- 9 7 高速自動車国道の本線車道における最高速度は、すべての普通自動車が時速100kmである。
- 9 8 高速道路の本線車道を走行するときは、右側の白線をめやすにして、車両通行帯のやや右寄りを通行するようにする。
- 9 9 高速道路は、道路の変化や運転操作が少ないことから、あまり疲れないので、一般道路を走行するときより休憩は少なくてもよい。
- 1 0 0 高速道路において、本線Bから進入する車は、本線Aを進行している車の通行を妨げてはいけない。



本免学科試験対策問題③（解答と解説）

- 1 ○ 学科教本P225 後輪がすべる方向に軽くハンドルを切ります。
- 2 × 学科教本P209 夕暮れ時は暗くなっていく速度が速いので、暗さに順応できず視力が低下した状態で運転することになるので、早めに前照灯をつけましょう。
- 3 ○ 学科教本P187 設問の通りです。
- 4 × 学科教本P207 やや左前方です。右前方は対向車のライトが目に入ってしまう。
- 5 × 学科教本P228 緊急通行車両以外の車両の通行が禁止されています。
- 6 × 学科教本P224 道路外が安全ならば道路外に出て衝突を避けましょう。
- 7 × 学科教本P275 路側帯の幅が0.75m以下の路側帯の場合は左側に0.75mの余地を空ける必要はありません。
- 8 × 学科教本P274 2.5mではなく、3.5m以上です。
- 9 ○ 学科教本P273 設問の通りです。
- 10 × 学科教本P285 幅は自動車の幅以下です。
- 11 × 学科教本P300 自動車の車種や用途によって3か月、6か月、12か月ごとと分かれています。
- 12 × 学科教本P270 運転者がいても5分をこえる荷物の積み下ろしのための停止は駐車になります。
- 13 × 学科教本P285 自動車の長さ×1.1以下なので1mオーバーしています。
- 14 ○ 学科教本P279 設問の通りです。
- 15 ○ 学科教本P278 設問の通りです。
- 16 ○ 学科教本P279 設問の通りです。
- 17 × 学科教本P254 チェーンは張りすぎてもゆるみすぎてもダメです。張りすぎるとチェーンを動かす歯車の山が削れてしまったり、ゆるすぎてもチェーンが外れやすくなったりします。
- 18 × 学科教本P226 緊急車両などの妨害になったとき、その車を移動できるようにエンジンキーは車内に置いて、ドアロックもしないで避難しましょう。
- 19 × 学科教本P285 自動車の長さ×1.1以下までははみ出しもよいです。
- 20 × 学科教本P280 2km以内です。
- 21 × 他の交通の迷惑にならない場所に車を停めて助けてあげましょう。
- 22 ○ 学科教本P275 設問の通りです。
- 23 ○ 学科教本P277 設問の通りです。
- 24 × 学科教本P290 間隔は5mで布の色が白です。
- 25 ○ 学科教本P273 設問の通りです。
- 26 ○ 学科教本P285 設問の通りです。
- 27 × 学科教本P92 路側帯の中を通行する歩行者や自転車のそばを通るときも安全な間隔をあけるか徐行をしなければなりません。
- 28 ○ 学科教本P299 設問の通りです。
- 29 ○ 学科教本P272 設問の通りです。
- 30 × 学科教本P273 5m以内ではなく、3m以内です。
- 31 × 学科教本P272 駐車も停車も両方禁止です。
- 32 ○ 学科教本P298 設問の通りです。
- 33 × 学科教本P262 事業用自動車やレンタカーなど一部、1日1回、日常点検を行わなければならない自動車がありますが、それ以外の自動車は使用状況に応じて行えばよいです。
- 34 ○ 学科教本P275 設問の通りです。
- 35 ○ 学科教本P275 設問の通りです。
- 36 × 学科教本P277 駐車が禁止になっていない場所でも、同じ場所に引き続き12時間以上（夜間は8時間以上）駐車してはいけません。
- 37 × 学科教本P295 自分に責任がなくても相手が警察に届け出をしないと後に不利になってしまう場合がありますので必ず届け出をしましょう。
- 38 × 学科教本P298 ナンバープレートの封印とは、ナンバープレートに付いているアルミ製のペットボトルのキャップのような物で、ナンバープレートの取り外しや自動車盗難の犯罪を防止するために付けられています。原動機付自転車や軽自動車には封印はありませんが、どこの位置につけてもよい訳ではありません。

- 39 ○ 学科教本P266 設問の通りです。
- 40 ○ 学科教本P285 12歳未満の子供は、3人を大人2人として計算できるので、運転者1人、高校生3人、幼児3人→大人2人の計6人で乗車できることとなります。
- 41 ○ 学科教本P270・273 問題の標識は駐車禁止の標識で、停車することはできます。荷物の積み下ろしのための停止は5分以内は停車、5分をこえると駐車になります。
- 42 ○ 学科教本P290 設問の通りです。
- 43 × エンジンを停止するのはよいですが、エンジンルーム内は熱くなっていますので、やけどしない様に触ってはいけません。
- 44 × 学科教本P180 眠気を感じたら、居眠り運転にならないように少し休憩しましょう。
- 45 × 学科教本P285 12歳未満の子供は、3人を大人2人として計算できますが、運転者1人、運転者以外の大人3人、5歳未満の子供3人→大人2人の計6人になってしまうので運転できません。
- 46 ○ 学科教本P272 設問の通りです。
- 47 × 学科教本P270 そのような例外はありません。荷物の積み下ろしのための停止は5分以内は停車、5分をこえると駐車になります。
- 48 ○ 学科教本P285 設問の通りです。
- 49 × 学科教本P295 過失の大小に関係なく、加害者、被害者共にその義務があります。
- 50 × 学科教本P278 公安委員会に申請をして、専用場所駐車標章の交付を受けなければ駐車することができません。また、高齢運転者以外にも聴覚障害者や身体障がい者、妊婦なども対象になっています。
- 51 × 学科教本P277 駐車が禁止になっていない場所でも、同じ場所に引き続き12時間以上（夜間は8時間以上）駐車してはいけません。路肩の広さは関係ありません。
- 52 ○ 学科教本P264 設問の通りです。
- 53 × 学科教本P292 JAF（日本自動車連盟）とはロードサービスの会社です。故障車をけん引できるのはJAF以外のロードサービスでもけん引はでき、自分たちでロープを使ってけん引することもできます。
- 54 × 学科教本P275 路側帯の幅が0.75mをこえる場合には、路側帯に入り、車の左側に歩行者の通行のため0.75m以上の余地をあけておかなければなりません。
- 55 ○ 学科教本P285 設問の通りです。
- 56 × 積雪時の方が停止距離は長くなります。
- 57 ○ 学科教本P277 設問の通りです。
- 58 ○ 学科教本P139・140 免許停止は違反の点数が6点になった場合です。運転者がその場にはいない状況で駐車違反をした場合に放置車両確認標章を付けられますが、その駐車した場所が駐停車禁止場所の場合は違反の点数が3点になります。
- 59 ○ 学科教本P300 設問の通りです。
- 60 ○ 学科教本P181 設問の通りです。
- 61 ○ 学科教本P279・301 設問の通りです。
- 62 ○ 学科教本P286 設問の通りです。
- 63 ○ 学科教本P263
- 64 × 学科教本P276 バックランプ（後退灯）は必要ありません。
- 65 × 学科教本P285 積載物の重量は自動車検査証に記載されている重さまでです。
- 66 × 学科教本P50 問題のような例外はありません。
- 67 ○ 学科教本P318 設問の通りです。
- 68 ○ 学科教本P325 設問の通りです。
- 69 × 学科教本P317 普通自動二輪車も最高速度は時速100kmです。
- 70 × 学科教本P317 大型自動二輪車の法定速度は時速100kmです。
- 71 × 学科教本P317 普通貨物自動車と中型貨物自動車の一部の最高速度は時速100kmです。
- 72 ○ 学科教本P321 設問の通りです。
- 73 ○ 学科教本P322 設問の通りです。
- 74 ○ 学科教本P327 設問の通りです。
- 75 × 学科教本P324 空気圧をやや高めにします。
- 76 × 学科教本P320 高速道路の路側帯や路肩は通行禁止です。

- 77 × 万が一のために一般道路を走行するときも備え付けましょう。
- 78 × 学科教本P320 十分な幅のある路肩や路側帯に駐車させましょう。登坂車線は、荷物を積んだトラックなど速度の遅い車が走行する車線です。
- 79 × 学科教本P320 路肩は通行禁止です。そのような場合は加速車線で停止し、合流のチャンスを待ちましょう。
- 80 ○ 学科教本P316 設問の通りです。問題に出ている乗り物はけん引自動車といい、右の写真のような乗り物です。
- 81 × 学科教本P316 故障車をけん引している自動車は高速自動車国道を通行することはできません。
- 82 ○ 学科教本P326 設問の通りです。
- 83 × 学科教本P333 本線車道上で速度を落とすことは後続車の迷惑や危険につながるので、減速車線に入ってから速度を落としましょう。
- 84 ○ 学科教本P335 設問の通りです。
- 85 × 学科教本P321 故障や料金の支払いなどでも駐車することができます。
- 86 × 学科教本P320 後続車がいなくても高速道路では後退は禁止されています。
- 87 × 学科教本P316 ミニカーは高速道路を通行することはできません。
- 88 × 学科教本P321 危険防止などのためなら一時停止できます。
- 89 × 高速道路はある程度運転経験がないと危険です。
- 90 × 学科教本P335 年齢が20歳以上で、大型二輪免許か普通二輪免許を受けていた期間が3年以上ないと高速道路で二人乗りすることはできません。
- 91 × 学科教本P323 高速道路上は危険ですから、必要な危険防止措置をとった後は、車に残らず安全な場所に避難しましょう。
- 92 × 学科教本P54 追い越しをするときは、その通行している車両通行帯のすぐ右側の車両通行帯を通行しなければなりません。
- 93 × クラッチペダルを踏んでしまうとエンジンプレーキがきかなくなって停止距離が伸びてしまいますので、ブレーキペダルだけ踏みましょう。
- 94 × 学科教本P287 普通二輪免許を通算して1年以上受けていた人が、新たに大型二輪免許を受けたときは、二人乗りの禁止が免除されます。
- 95 × 学科教本P316 故障車をけん引している自動車は高速自動車国道を通行することができません。
- 96 ○ 設問の通りです。
- 97 × 学科教本P317 三輪の普通自動車の最高速度は時速80kmです。
- 98 × 学科教本P319 左側の白い線をめやすにして、車両通行帯のやや左寄りを通行するようにしましょう。
- 99 × 学科教本P326 高速道路の運転は、高速で走行しながらの正確な情報収集と迅速で的確な状況判断が要求され、眼の疲労と精神的な疲労が出ますので、適度な休憩をおりこんだゆとりのある走行計画を立てましょう。
- 100 ○ 学科教本P43 問題の標示がある本線車道と合流する前方の本線車道が優先道路であることを示しています。

